

「茶の湯体験学習」

指導計画案

(小学校3年～6年)

総合的な学習(伝統文化)

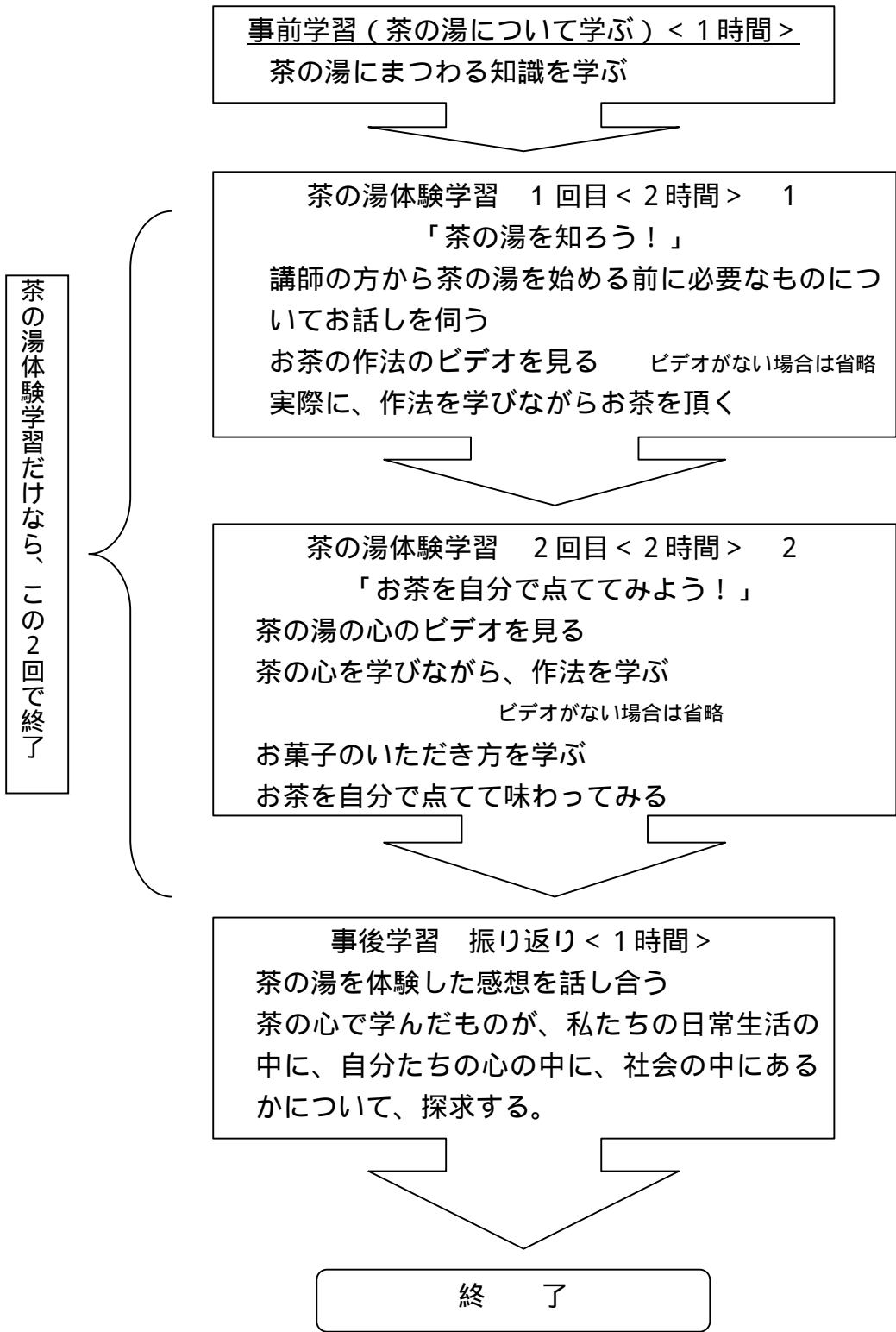
関連学習分野：社会科、道徳、総合的な学習等

講師の先生	
お手伝い	

小学校

実施クラス		統括担当：	
担任：	担任：	担任：	
年 / 組 人	年 / 組 人	年 / 組 人	

カリキュラムの流れ



第1時間目	月 日 () までに実施	時限目	クラス単位
段階	授業目的	つきたい力	
事前学習	茶の湯について学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶の湯とは何かを知ろう ・ 堺とお茶と利休について知ろう ・ お茶って日本だけ？ ・ 茶の心を知ろう 	情報活用能力 資料の分析力	
授業内容	茶の湯体験学習をする前に、事前学習として、茶の湯とは何か、あるいは茶の湯の周辺にある歴史や背景、茶の心などについて調べたり考えたりする時間をもつ。 <p>伝統・文化としての茶の湯について学ぶ（伝統文化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料などで調べる ・ 知っていることをみんなで出し合う <p>堺とお茶と利休について知ろう（社会科）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 資料などで調べる ・ 堺市博物館や伸庵などの資料を使い、堺とお茶の関わりを学ぶ ・ 利休について調べる <p>お茶って日本だけ？（社会科）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界にあるいろいろなお茶を知る ・ その中で日本だけが、茶の湯として発達したことを知る <p>茶の心を知る（伝統文化、道徳）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茶の心とは何か？ ・ 最後に、茶の湯を体験した後に、もう一度考えようという問いかけをしておく <p>すべての項目を入れなくてもよい。学年に応じて、適宜項目を選ぶ。</p>		
授業の準備	私たちのまち堺 堺市博物館、伸庵等の資料を集めておく Web教材「茶文化からCHA文化へ」が使える環境を整備 Web教材「茶の湯徹底分析シート」等を活用		
次回への準備	茶の湯体験学習のための準備物を揃える 講師の先生との打ち合わせ 学習支援いただく保護者の方との連絡をとる 茶の湯に関するビデオがある場合は用意する		
児童・生徒について気づいた点			

第2・3時間目 1	月 日()	時限目	合同クラス
段階	授業目的	つきたい力	
茶の湯体験学習	茶の湯体験学習 「茶の湯を知ろう」 ・茶の湯について講師の方から話を聞く ・茶の湯を体験する	人の話を聞く力 観察力 表現力 コミュニケーション力	
授業内容	1時間目 挨拶 講師紹介 軸、花の説明 ビデオ 茶の湯の作法ビデオ ない場合は、省略 デモンストレーション お客 2名 手前 半東、解説 2時間目 各クラスに分かれて おじぎの仕方 「真・行・草」 お干菓子のいただき方 お茶のいただき方		
授業の準備	Web「茶の湯からCHA文化へ」から茶の湯に関する情報を入手 別紙「茶の湯体験」で準備するもの参照 ビデオ：茶の湯の作法ビデオ、映写機、スクリーン、ビデオデッキ（ビデオがある場合用意する）		
次回への準備 備考	別紙「茶の湯体験」で準備するもの参照		
児童・生徒について 気づいた点			

< 1 2は堺市立西陶器小学校の実践事例をご提供いただき作成しています >

第4・5時間目 2	月 日 ()	時限目	クラス単位
段階	授業目的	つきたい力	
茶の湯体験学習	茶の湯体験学習 「お茶を自分で点ててみよう！」 茶の湯の心のビデオを見る 茶の心を学びながら、作法を学ぶ お菓子のいただき方を学ぶ お茶を自分で点てて味わってみる	人の話を聞く力 観察力 表現力 コミュニケーション力	
授業内容	<p>2時間を通して(適宜休憩を入れる)</p> <p>挨拶 講師紹介 ビデオ 茶の湯の心に関するビデオを見る ビデオがない場合は講和 おじぎの仕方「真・行・草」 主菓子のいただき方 解説・実践 お茶のいただき方 自分でお茶を点て味わってみる</p> <p>お茶のお作法で挨拶が重要であり、お茶を通じてコミュニケーションをとり、人間関係を作っていることを感じる。</p>		
授業の準備	<p>別紙「茶の湯体験」で準備するもの参照 ビデオ：茶の湯の心に関するビデオ、映写機、スクリーン、ビデオデッキ(ビデオがある場合用意する)</p>		
次回への準備	<p>事後学習のための準備</p> <p>学習目標に応じて道徳、社会科、総合的な学習に関して学ばせたいテキストや資料を用意する。(Web「茶の湯からCHA文化へ」参照)</p> <p>子どもたちの自主学習としてインタラクティブ・スタディ型教材を利用できるように準備する。(平成20年度Web教材として提供予定)</p>		
児童・生徒について気づいた点			

< 1 2は堺市立西陶器小学校の実践事例をご提供いただき作成しています >

第6時間目	月 日 ()	時限目	クラス単位
段階	授業目的	つきたい力	
事後学習 振り返り	事後学習 振り返り < 1時間 > 茶の湯を体験した感想を話し合う 茶の心で学んだものが、私たちの日常生活の中に、自分たちの心の中に、社会の中にあるかについて、探求する。	まとめる力 分析力 表現力 チームワーク 観察力	
授業内容	<p>体験を話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶の湯を体験した感想を話し合う。(グループで) グループで出た意見を全体で発表する。 <p>今まで出てきた意見について、いろいろな角度から考えてみる</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶の湯について、マナーについて、伝統文化について、和の心について等、いろいろな角度から考えてみる。 <p>いろいろな角度から捉えた茶の湯と日常生活の接点を探求!</p> <ul style="list-style-type: none"> 茶の湯の体験から出てきた視点について、自分たち自身の日常生活の中にその視点を見つけていく 仕事の中に見つけていく <p>気づいたことを記述する 以上の探求の中から見つけたこと、感じたことを文章にまとめる。</p> <p>振り返りでは、上記全ての項目をする必要はないが、伝統文化としての茶の湯と日常生活との接点について、子どもたち自身で気づくようにさせる探求のプロセスは重要になる。キャリア教育的視点を導入することも良い。</p>		
授業の準備	<p>メモ用紙(ポストイット) たくさん 模造紙(あればチームに1枚。黒板で代用可能) これらは、視点を明確にさせていく探求のプロセスに必要なものとなる 気づいたことをまとめるための用紙 感想文のための用紙 Web教材「茶の湯徹底分析シート」等を活用</p>		
次回への準備			
児童・生徒について気づいた点			